

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなる

2018年9月
第235号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
小倉 卓郎
TEL/FAX
7155-0272
(部内資料)

市田義演説 共産党大きくする意義

9月1日午後、市田義副委員長・参議院議員



参議院選候補者の方達と支持を訴え、市田副委員長。右から市田・浅野・加藤

9月1日午後、市田義副委員長・参議院議員が柏市民文化会館で開催されました。



最初に、自由党の平野貞夫元参議院議員と千葉市民連合の代表が挨拶し、しいばかずゆ

き参院選比例候補、浅野ふみ子(写真左)参院選千葉選挙区候補が決意表明しました。

市田氏は、「森友・加計」疑惑や消費税増税、臨時国会での9条改憲、朝鮮半島での平和の動きと安倍政権の対応を厳しく批判しました。市民と野党の共闘の展望と日本共産党の躍進の意義についても語り、その力で安

倍政権を倒そうと強く訴えました。最後に日本共産党の綱領に触れて党の理念・歴史・党名の由来を話し、ともに未来を切り開こうと呼びかけました。

参加者から

○市田さんらしいソフトな語り口のテーマごとに話す内容は力強く説得力があった。漂流する生き方ではなく羅針盤をもって、と言われた時には思わず背筋がのびた。

防災の責任は行政!!

9月議会傍聴記

★今年の夏は連日の猛暑の中で台風が次々と襲い甚大な被害を受けました。

9月6日の市議会一般質問当日も早朝に北海道で大震災が発生、不安な気持ちで議会傍聴に出かけました。

受付で渡された「一般質問通告書」に目を通すと、9月4日から7日ま

その中で、植田和子議員の質問を聴きましたが、ブロック塀倒壊を防止する支援、大規模災害に見舞われた際の復旧復興に向けた取り組み、自治会

活動への支援について防災資機材への補助金制度、そして、避難所運営マニュアルなど多面的で鋭い質問でした。植田議員の質問に答えられず長時間の「暫時休憩」。答弁する市当局は、市民の命を災害から守るという強い姿勢があるのかどうか。

江戸川に接し利根川にも近い流山市。市民の防災意識は高いと思います。6人の議員だけでなく多くの議員が防災問題で発言し市当局も真剣になっ

再稼働やめ 原発から撤退を!!

は自治会側にあるのかと問い正したところ、やっと同部長は、行政側にあ

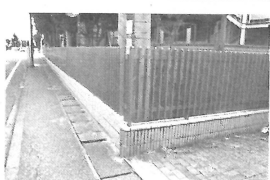
こんにちは 植田和子です



を作ってくださいました。会役員さんや出前講座を企画して私を呼んでくださった皆さん、本当にありがとうございました。

8月27日 8月30日から9月議会が始まります。大阪北部地震を受けて、一般のブロック塀の倒壊を防止するための支援や、住宅の一部損壊への支援、自主防災組織に対する補助金制度や避難所運営マニュアル、など防災対策について質問します。水害についての防災問題は、乾議員が質問します。

他に、江戸川台駅東口の繰り返しされる補修、格差と貧困に対する各種施策、新設小学校と新設中学校、小児救急医療、初石駅の改善など4人の議員が分担して質問します。



大阪北部地震のブロック塀被害を受けて調査・改修を要請。危険な北部中の塀が改修されました。

9月8日 6日、無事に一般質問が終わりしました。この質問のきっかけ

と答弁。私は自治会役員として、何という攻防を繰り返しているのかと非常に残念でなりませんでした。

実情は、自主防災組織の質の格差であり、80%は流山市役所ホームページにあるひな形を自治会

会則に附則として形だけ出来ているように見せている状況だとの認識です。具体的、自助・共助をソフト・ハード両面で構築している自治会は少ないと思います。行政は自主防災組織構築の指導を。 東深井 1

ヘッドライト

今夏は豪雨、台風などが続き各地に大きな被害が出た。関西空港の冠水や北海道の全域停電などその規模はすさまじかった。これを「想定外」ともいうが、それでいいのだろうか。▼

自然の猛威への警戒

高潮とは、大潮と高潮が重なると、波の区別がつかない人も。今回の台風を見て危険は津波同様にもっと警戒が必要なのではないだろうか。▼高潮は気圧が低下して、その分海面が押し上げられることなどをいうようだ。日本でも過去4月近い高潮を観測しているが外国では倍の高波の経験がある。潮位に加えて強烈な台風で波が吹き寄せられるとさらに上がる。大都市はほぼゼロに近い。原発もほとんど海岸に作られている。複合災害への備えが十分とは思えない。北海道のすさまじい地滑りも台風、豪雨と地震が重なって起きたものようだ。

あなたのメール、会話が監視されています！

(法)、マイナンバー制度、16年盗聴法大幅拡大、17年共謀罪(監視の理由を合法化)と違法な監視はすでに隠れて実行されている。



リカ国家安全保障局(NSA)やCIAの職員であったエドワード・スノーデンが機密文書を命懸けで暴露した話。(現在は亡命し、モスクワに在住)

スノーデンが暴く諜報の間

8月19日、南福祉会館で流山・九条の会主催の「スノーデンが暴いた諜報の間：戦争のために合法化される監視と情報操作」と題した、ジャーナリストの小笠原みどりさんのお話を聞いた。

2013年から「対テロ戦争のため」とし、当時のプッシュ政権が極秘裏に違法監視をさせた。今は国家とクレーグ、アップル、フェイスブック、マイクロソフト、ヤフーなどインターネット・通信企業に協力させ顧客情報を取得していると言う。

スノーデンの暴露後、日本でも監視法制が猛スピードで作られてきた。2013年特定秘密保護法、15年新安保法(戦争

平和を誓い合う8月(19・20日)に広島へ行った。一人で夜行の高速バスに乗った。33年前に小1の息子と原水禁大会に参加して以来のことだ。

孫たちに平和な地球残したい

短い旅だった。高野とも

愛用のカメラでたくさん写真を撮ったが、小さな子の被爆写真を見た時は、思わず涙がこぼれた。被爆したアオギリの樹の前にあったサイン帳に



女性被爆者 平和記念館展示 焼きたつた柄の柄物着用

「かわいい孫たちに絶対平和な地球を残してあげたいよ。ともはばよ」と書いた。平和記念館は耐震工事をしているが、内容は重いものばかり。外国人がたくさん来ていたのには、なにか世界の平和を望んでいる人たちを見るようで、ほっとした。原爆ド

実弾演習に戦車かわいい!?

8月26日(日)平成30年度富士総合火力演習の

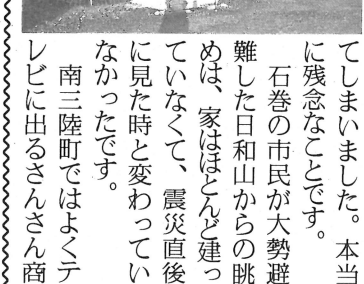
ムや子ども達の像、たかさの折鶴などどれも心に焼き付けた。いつか孫たちを連れてお訪れしたいと強く思った

短い旅だった。高野とも

東日本大震災の被災地を訪ねて

店街に行ってきた。日曜日のせいかとても

8月11日から、被災地をいくつか見ってきました。はじめに、84名の犠牲者を出した石巻市の大川小学校(写真)に行きました。校舎はそのまま保存されています。夕方だったけど、訪れている人たちが結構多かったです。裏山に逃げて



いけば助かったといわれていますが、その裏山は校舎のすぐ隣にありました。それとは逆方向の川の方のちよっとした高台に逃げたために被害にあっってしまった。本当に残念なことです。石巻の市民が大勢避難した日和山からの眺めは、家はほとんど建っていない。震災直後に見た時と変わっていません。南三陸町ではよくテレビに出るさんさん商

この二つも震災の遺構として保存することが決まっています。被災地に行ってきたことは、居住地は高台に移しているということですから。日本各地の津波や土砂災害に襲われそうなどころでも、より安全な場所への移転も必要になるかもしれません。もう一つは、震災の遺構を残すことは震災の教訓を目に見える形で残すことになるので良いことだということ。南三陸町のあの防災庁舎も遺構として残すことが決まっています。(西深井 S)

戦争展「とうかつ」

8月11日の元防衛官僚の柳澤協二氏の記念講演を皮切りに、16日から19日まで第20回平和のための戦争展「とうかつ」が行われ、展示会場(柏パレット)に延べ1800人が来場しました。

大空襲絵図をはじめ、原爆と人間パネルなどの展示、朗読や戦争体験の証言、平和の歌声など多彩な催しに、平和の大切さを感じました。Y

あすなる川柳

ミサイルじゃ民を守れぬ

地雷がどこでも起つ日本。国民の願いは災害への対処。武装する自衛隊じゃない。正直か

どうかを問うなど安倍総理

総裁選の争点が正直かどうかだ。自民党も安倍総理のうそに丸め込まれたか!

憲法9条に自衛隊を明記させない闘いは、国民の「戦争しない国」の願いを守る。O/K



福田須磨子の詩「アイキャッチ」を朗読する。平和賞の礎として「梨の花」の皆さん。新婦人流山支部